

# E.R.F.C.

Newsletter 2003 vol.6

## 【ロードスターに、改めて乾杯！】

すでに2000年にギネス入りしていた我らのロードスターがこのたび生産累計70万台を記念してその記録を更新とのニュースが！それを記念して怪鳥こと渋谷さんに寄稿してもらいました。

クルマが好きそうな相手だったら、とりあえずロードスターの話をしてみる。

格好いいことではないと思うけれど、いい加減な英語しか話せないのに、ヨーロッパで雑誌の記事を作るための取材を続けてきた僕が、取材中、話のネタに 困ったり、気まづくなった時の窮余の策だ。

この10年間あまり。そのおかげでいったい、これで何人の外国の人と親しくなったか。考えてみると100人は下らないだろう。

つくづく、ロードスターというクルマの魅力には、国境がないと思う。まあ、取材相手へのお世辞も幾分かはあるだろうけれど、「ロードスターに乗ってるんだ」と僕が言ったとき、意地悪な顔をされたことは、ほんとうに、たったの一度もない。

たいてい、表情をフワッと和らげて、「あれはいいクルマだよなー」と言ってくれるのだ。(違うことを言ったのは、僕の記憶ではたったのふたりだけ。ポルシェデザイン社の副社長に「ポルシェに乗りなさいよ」と言われたのと、BMWの本社広報担当の男性に「Z3の方がずっとスポーティだぞ」と、半分冗談で返されたこと。それだけだ)

その、僕らのロードスター、世界のロードスターが、さらに歴史に残るクルマになった。

自動車の百数十年の歴史の中で、2人乗り小型オープンスポーツカーの分野で、累計生産台数が70万台で現在も記録を交信中と、文句なく「世界で最もたくさん作られた(ている) = 世界で最も愛された(ている)」クルマになったのだ。

僕がこのクルマを買うと決めたのは、1989年のシカゴオートショーに出展されたとき。当時所属していた、某漫画家さんたちが中心だったJAF公認クラブで、「NAVI」に掲載されたその写真を見て「これが日本で発売されたら必ず買うぞ！」と発言したことがきっかけだった。

まもなく、その願いは現実になり、その言葉に責任を持つことになるのだが、それが何よりも嬉しかった。

そして、このクルマは運転下手な(今でも下手だけれど)僕の運転の師範代となって、まもなく15周年を迎えようとしている。

15年という時間は長いもので、今はその夢を育てたトム俣野さんも松井さんも、開発主査だった平井さんも、デザインを仕上げた田中さんも、そして竹井さんも、そして僕自身も、当時とは違った人生を歩いている。

でも、林さん、貴島さん、吉岡さん、そして福田さんなど数多くのマツダとその関係者の皆さんが、今もロードスターと共に歩み、世界中の人々に喜びを提供してくれている。

その誰にとっても、今回のニュースは嬉しいものに違いない。

ロードスターという、歴史に残るクルマに出会い楽しめる時代に生き合わせたこと。

ロードスターが縁で、世界中の素晴らしい人々に出会えたこと。

僕の人生が、このクルマのおかげで、とても充実したものになっていること。

今、そのことを改めて感謝したい。



(渋谷康人)

## 【CG SPRING MEET 2004】

会員の後藤さんから「CG SPRING MEET」の報告をいただきました。

今年も二玄社主催 CG SPRING MEET 2004 を見に豊島園へ行って来ました。今回はスーパー「な」カーと言うテーマで、本物の新旧スーパーカーから稀少な大衆車まで、ロードスタ関連ではマツダ E&T から TS コンセプトを含むクーペ各タイプ、それに CLUB M2 の方々が車両展示されておりました。

毎年行われるトークショー、今年は立花啓毅さん、福田成得さんとマツダ関連の方々が参加。3/14 の松任谷、大川(NAVI)、福田、エンリコ・フミア(元 Pininfarina Alfa GTV.SPIDER.164 担当)各氏で



CG 初代編集長 小林彰太郎氏とbugattiet35

当日の様子はこちらをどうぞ。

<http://www.nigensha.co.jp/cgclub/SM2004/SM2004index.html>

(No.697 後藤 敦司)

## 【ロード・スターの皮を被ったモンスター】

海の向こうのロードスター亜種(?)、会員の吉本さんからの紹介です。そう言えばNBそっくりの水陸両用車もありますよねえ。こういう面からも累計70万台の影響を感じたりして.....

先日仕事でオーストラリアのプリズベンへ行ってきましたが、ちょうどモーターショーが開催されていたので覗いてきました。

そこに凄い物が展示されていました。BULLET Roadstar V8/V8 SSです。「羊の皮を被った狼」という言い方がありますが「ロード・スターの皮を被ったモンスター」です。外見はNAを少し改造しただけといった感じですが、中身はまるで違います。

エンジンは4リッターV8

225kw(306ps)/320kw(435ps)スーパー・チャージャーシャシーはスチールのスペースフレーム(かなり本格的でした) F:マックファーソン、R:ダブルウィッシュボーン。

大きいエンジンを搭載するためかフロント・フー

の「カーデザイン・トーク」を聞いて来ました。

福田さんは入社時からの担当デザインモデルをスライドで解説、その中で懐かしかったのは1970年東京モーターショーに展示されたロータリーミッドシップのプロトタイプ、RX-500のお話。この車は私もリアルタイムで見て(歳がバレル)子供心にそのカッコ良さに驚いた事を覚えてます。本来はワゴンスタイルにするつもりだったとか。

最後の質疑応答で「現在乗られている車は?」との問いに福田さんは当然「ロードスター」フミア氏は「164が欲しいがイタリアには程度の良い車が無い、今は暫定的にパサート」「日本のデザインと思える車は?」との問いに、福田さんはやはり「ロードスター」フミア氏は「日産キューブ」お二人の車に対する思いが見て取れる回答でした。

早春の暖かい陽射しの中、名車を愛でつつビールを飲んだり、種々雑多なショップを冷やかしたりと、いつもながら楽しい一日を過ごせました。来年も行くつもりです。興味ある方、ぜひ一緒にしましょう。

ドはFRPの別物でボディサイド中央を前後に走るパーティション・ラインから上がジャガーEタイプのように前ヒンジでガバッと開きます。ただ上手くデザインされているし仕上げも良いので違和感はありませんでした。

ウインドウ、ドア、トランク・リッド、インテリア等はNAにちょっと手を加えただけなので、全体的には国内によくあるNAの改造車といった雰囲気でした。

ちなみにお値段はAUS \$98,000/\$118,000でした。約830万円/1000万円ですね。

ホームページは [www.bulletcars.com](http://www.bulletcars.com) です。興味のある方は覗いてみてください。

(No.171 吉本 豊)

## 【アクティブ・ステアリングに乗ってみた！】

今回は巻頭記事と合わせ、怪鳥2本立て！BMWの試乗記を。

最近はあるクルマの仕事をしてなかったんですが、先日、BMWの新5シリーズに乗るチャンスがあったので報告します。

乗ったのは530i。お値段は、600万円台半ばの、中堅だけれどお高いモデルですが、面白かったのはやっぱりアクティブ・ステアリングという仕掛け。

昔、ホンダのインテグラやマツダのカペラ、日産のスカイラインと、この手のシステムが流行ったことがありましたが、インパクトが弱かったのか、すぐに廃れてしまいました。日産もスカイラインでHI-CAS IIってのを取り入れていましたが、今は消えました。

インパクトがあるということは、好き嫌いもあるということ。BMWがこの時期にどんなものを出してくるのか。



これはかなりの挑戦といえるでしょう。

「低速ではハンドルがグッと切れますから、注意してください。縁石に乗り上げそうになったという人もいらっしゃいます」

キーを受け取って乗り込むとき、BMWの人が言いま

した。そう言われると緊張します。

「うーん、確かに」

ソロソロゆっくり走るときは、びっくりするくらいステアリングが切れて小回りが効きます。試しに2車線道路でUターンしてみると、普通ならギリギリ、心配だったら一度バックして切り返しをする感覚が、すんなりクルッと回れてしまう。これはなかなか気持ちがいいものです。

これは、低速時だけタイヤの切れ角がぐっと深くなるから。この時はメルセデスくらいタイヤが横に出てくれる、そんな感じです。

高速では、これまでのBMWと変わらず、安定した走り。サスペンション全体の容量・性能がアップ

しているからか、首都高湾岸線の結構大きな段差も、僕の7年ものC200とは違い、スムーズにやり過ごしてくれます。

裏路地を苦しめないBMWです。

ある意味でそれよりも斬新なのが、変わっているのがiDriveという集中コントロールシステム。シフトレバーの後ろの、丸いボリュームのようなツマミひとつで、それを回したり押したり、前後左右にズらすことで、カーナビ、エアコン、オーディオ、それからドライビングコンピュータを操作します。

回せないときに回そうとすると、電磁石の反力なのでしょう、グリグリと抵抗を感じて、これがちょっと気持ち悪いですが、しばらく使っているとコツが飲み込めて、狙った機能が呼び出せるようになります。

それにしても最近のBMWは本当にアグレッシブです。先月発売の雑誌「グッツプレス」にも書いたのですが、実はもともと、最初の最初は、BMWは技術的挑戦を繰り返すメーカーでした。今のBMWは、その頃に戻ったとも言ってもいいわけです。

小回りが効くロードスターには要らないでしょうが、これからは、アクティブ・ステアリングシステムが、自然な形で当たり前になってくるのかもしれない。そう思いました。



そんな事を考えながら、このBMWを月島のスタジオに頭から突っ込んで撮影した帰り、大通りに出ると、中央分離帯に乗り上げて、オレンジのポールを倒し、警察とレッカーのお世話になっているいるSクラスを発見！

「あれは、アクティブ・ステアリングじゃなかったはずけどなあ・・・」

本当に、どうしてあんなことになったんでしょうか？ いまだにわかりませんです。

(怪鳥しづや)

## 【ちょっとした近況報告です...が】

なんだかジャンケン大王のイメージが強く、テンション高い人として語られることの多い(おいおい)つやまさんですが、今回はちょっとばかり様子が違います...

誰だって事故なんて起こしたくないですよ。それは当たり前のことですが、でもやっぱり声を大にして「事故を起こさないように」と言いたい気持ちです。

2月のとある土曜日、いつもの様にスタッフミーティングに行くべく、ろどすたを高井戸のジョナサンに向かって走らせていました。時刻は夜の9時半になる頃、いつもより若干車が多いかなぁという程度の環八内回り、とある交差点をちょっと過ぎたところでそれは起きました。

信号が青に変わり、ちょっとアクセルを踏んで走り出したところで、前の車のブレーキランプが点きました。特に慌てるほどのこともなく自分も停車し、何気にバックミラーに目をやると、ミラーの中にワンボックスが飛び込んで来るのが見えました。「あれ？速くない？」と思った次の瞬間「これは間に合わないぞ！」という確信に変わり...

車(の一部)がつぶれる音って、どうにも切ない気持ちになります。いわゆる、おかまを掘られたという状況でした。受けた衝撃から、動けなくなるほどの事故じゃないと感じていたので、まずは車を前方の路側帯へ避け、助手席の妻に様子を聞いてから、ぶつけてきた車の運転手に対峙すべく車を降りました。

幸いなことに(というか当然のことなのですが)、相手は自分に非があることを認め、こちらの様子を案じ、自らすぐに警察へ連絡を取りました。車の損傷状況をざっと見ながら、バンパー交換程度かななどと思っているうちに警察官がやってきて、型どおりの事情聴取を受けて、賞味30分程度でその場は終わりました。警察官には、具合が悪いなら病院に行きなさいと言われましたが、幸いにも特に自覚するようなことはなかったため、そのままミーティングに向かいました。終始落ち着いていたつもりだったのですが、実際は結構動揺していたのが、やがてわかるのですが...

翌日目が覚めると、みんなが心配半分で脅してくれたように、妻は首の痛みや頭痛を訴え始めました。どうもムチ打ちみたいです。折り良く先方の保険会社から事故状況確認の電話が来たので、明日病院に行く予定であることを告げてから、車の状況を報告。この時改めてろどすたを見た時に、バンパーだけで

はなく、リアパネルもナンバープレートの周囲がバクッリ割れていたことに気づきました。前日あれだけよく見たつもりだったのに、暗かったとはいえ目に入ってなかったとは、結構動揺していたんだなぁと改めて思いました。

週が明けて月曜日、妻は病院へ行くことにしたのでお休み。私はいつもの通り出勤しようと起床したのですが、どうにも頭が重くて困りました。そう、わたしにもすっかり症状が出てきたのです。勤務後に通院することにしてなんとか出勤しましたが、頭痛に加えて腰と首の痛みが出てしまい、途中から仕事どころじゃない状況。何とかだましだまし定時までやり過ごしてから病院へ。診察の結果、頸椎捻挫と腰椎捻挫。妻もやはり頸椎捻挫との診断。この日から夫婦二人で首の周りに水色のポリネックをつけて首長族と化したのでした。冬場だったのでマフラー代わりで暖かくてよかった...正直夏場は無理でしょうね。ともかく、首と背中中の凝りからくる頭痛にひどく悩まされる毎日がはじまりました。仕事が終わると通院する毎日。妻は時折ひどく痛み腕が上がらないなどの症状もあり、何日か仕事を休んでしまいました。

それから一ヶ月半が経ちました。その間に、車はきれいに直してもらいました。病院も診察券を出すだけでお金を払うこともなく通院できています。当たり前といえばそれまでですが、すべきことはちゃんとしてもらえているので、そういう意味では安心して体を治すことに専念できています。

それでも、辛い。

幸いなことに、私はだいぶ快方に向かい、程なく治療も終われそうです。それでも当初の見込みから二週間以上越えてしまいそうですし、今でも首から腰にかけて張りがあると頭痛に悩まされます。妻に至っては、この二週間くらいはあまり状態がよくなり、まだ時間が掛かりそうだと医者にも言われています。やはり辛いのは頭痛のようです。首や肩が痛むというのもあるのですが、それに起因した頭痛は、何もやる気がなくなって手につかなくなる様です。

結局、普通に生活することに支障があるから、気分転換にどこかへ行こうという気にもなりません。

普段していた何でもないことをしんどく感じてしまう。そういう積み重ねが更に気持ちを重く暗くします。痛いとかしんどいよりも、それがとても嫌だと感じます。

今回、幸運にも、相手方が普通に当たり前のことをきちんとしてくれる人で、お互いに大怪我もせず、車もきれいに直っており、事故にあったという割には負担の比較的少ないラッキーな方だと思っています。それにもかかわらず、この一ヵ月半、辛くしんどい毎日でした。お金とかそういう問題ではな

く、このしんどかった時間を返して欲しい何とかして欲しい、心底そう思います。

そして、やっぱり、事故を起こしてはいけない、お金で解決すれば済むことじゃない、と思うのです。

皆さん、本当に気をつけてください。私は気をつけていても事故をもらいました。だからこそ気をつけてください。どうか大好きな車を使って加害者にならないように。お願いします。

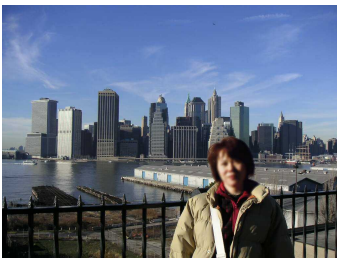
(No.153 つのやまけいいち)

## 【レディース通信】

今回はいまさらながら年末年始の旅行の報告。

新年明けましておめでとうございます。あれ？今更でした？何はともあれ今年もよろしく願いいたします。

今年のお正月は皆様どう過ごされましたか？コタツでみかんを食べながら TV を見ていたという方が多いのでしょうか？また、毎日、朝から飲んでいたという方もいらっしゃるかもしれませんね。私は、年末から年始にかけてニューヨークで過ごしました。



今回の年末年始は、カレンダーにも恵まれ9連休！小学校からの友人が、結婚してニューヨークに住み始めて早2年。ずーっと遊びに行く行くと

言いつつ実現できていなかったのどうとう決断しました。仕事で休みの取れない旦那を日本に残し、一人旅をしてきました。とはいえ、今回は現地に友人もいるので全く一人じゃないですね。

まず、今回の旅行の一番印象に残ったことは、人が多いことでした。全世界でお休みなのだとつくづく実感しました。行くところ行くところ、いわゆる観光スポットや繁華街、どこもかしこもいろいろな人であふれていました。そして、何を言っているか全く分からない言葉があちらこちらから聞こえます。人種のるつぼってこうゆう事なのねと思うとともに、NY って本当に世界都市なのだなぁ・・・と感じました。東京にいても自分が観光客ではないせいかもしれませんが、ここまでのいろんな国の人が集まるって事はないと思います。



エンパイアステートビルの上からの眺め

そして、人が多いって事は、観光スポットに入場のために並ぶのです。エンパイアステートビルでは、チケットを買うために約1時間、展望台に上がるまで約1時間半、合計2時間半掛かってやっと展望台にあがれました。自由の女神のあるエリス島に行くフェリーも同じくものすごい列をなしていました。この船には乗らなかったのですが、船が発着する公園の中を歩いていると、まずチケット買うための列（これも決して短くはないです）があり、その後、道路に沿って伸びている長い長い列を見ました。チケット購入後フェリーに乗るための列でした。並んでいたら、1・2時間で乗れるのかという列・・・その長さにクラクラしちゃいました。自由の女神あるエリス島に行こうと思わなくて良かった！



チケットを求める人の列



しかし、NY 初体験の私としては当然自由の女神ははずせないスポットなので、スタッテン島に行くフェリーに乗り遠くから自由の女神を眺めました。このフェリーは、自由の女神からは少し遠めですが全体像を見るにはちょうどよい距離だと思います。

次に気温ですが、NY はこの冬、ものすごい寒波が襲っていたようですね。一月は、ハドソン川も凍るほどだったとか……。しかし、年末年始の NY は、暖かかく良い天気でした。NY は、かなり寒いところというイメージですし、友達にも帽子は必ず持ってくるようにと言われていました。ところがところが、私の滞在中は、連日 10 前後はあるような毎日でした。アメリカは華氏表示なので、街頭の温度表示が 4x 度と出ているにもかかわらず、一箇所、摂氏でも表示されるところを発見！そこには、夕方 5 時ごろで 12 と表示されていました。暖かいはずですよええ。そして、雨にもほとんど降られておりません。おかげで、あまり寒さも感じず、人も多いので怖さもなく、楽しくいろいろな場所を巡ってまいりました。

泊めてもらった友達の家は、ブルックリンというエリアにあり、マンハッタンからはハドソン川をはさんで対岸になります。最近のガイドブックには、マンハッタンだけでなくちょっと離れたエリアも多少なりとも紹介されていたりしますが、そういう場合にはたいてい紹介されているエリアです。マンハッタンもそうですが、NY は、通りを一つ隣に移動するだけで治安が悪くなったり良くなったりすると

言われていますが、ブルックリンも同じとのことでした。ただ、友達の家を出るとすぐ商店の並ぶ通りがあり、夜遅くても人通りがあって人気なくなるようなことはほとんど無いところで治安は良いようでした。

友達が住んでいるのは、築 80 年は越えているという古い家の最上階です。このエリアは、そういう古い家並みが続いていて人気のあるところだそうで、一軒購入しようと思うと億は越えるとか……。

建物自体は一ブロック分くらいが続いている長屋状態のもので、縦割に一軒分の家があり、それぞれ半地下（階段を数段下がったところ）と外階段をあがったところに玄関、ここが 1 階だとすると地上 3 階建ての、4 層の建物です。多くの家が改装し上階を貸していたりするようですが、友達の借りている家は、廊下の壁紙などほぼ建築当時のままの内装だそうで、とてもすてきな家でした。ただし、使い勝手や住み心地という意味では、古い家を直し直し住んでいるので最新の快適な生活とはちょっと違います。特に建築当時にはなかったような水回りは、水の勢いが弱いとか排水が悪いなどあるようで、泊めてもらうにあたりいろいろと注意事項がありました。



テロを警戒しての厳戒態勢については、それほど気になるようなことはありませんでした。ただ、大きな建物に入るときは必ず荷物チェック等セキュリティーを通すので、冬場の着だるまになっている状態ではちょっと面倒くさかったですね。あとは、NY の空港では全員靴を脱いでセキュリティーを通して、ここまでするのねえ……って思ったくらいです。むしろ、銃を持って警戒態勢を取っている NY のニュースを日本の TV で見ていた友達から、「大丈夫だった？」と聞かれて「えっ？ そうだったの？ 全く知らなかったわ！」という感じでした。

(たかはしちかこ)

## 【マフラーが..... (ひでまるのミニ日記)】

一方その頃(って、前回はこんな紹介だったっけ)ひでまる会長のミニにはこんな事件が。。

ある日、といっても真夜中のことでした。寒い中、コンビニでトイレ休憩して缶コーヒー買って、ふとミニを見てみるとなんか様子が違います。そう、マフラーがいつもと違う向きになるじゃあ～りませんか!! つま先でツツンしてみたらガコツて動かし.....! ははぁ～ん、これが「あさっての方向」ですな。するってーとさっきのは「おととい」か。



さて、缶コーヒーをすすりながらよくよく見てみます。うちのミニは前の人がつけたルーキーの黄色いセンターマフラーなんです、タイコの出口のところサブフレームにゴムブッシュで留まっています。留まってるはずなんです、そのゴムがキレイにぱっくり切れてました。でもどうにかまだ落ちる気配はなさそうだったのでとりあえずそのままそぉ～と帰りました。

で、次の朝に明るくなってから見てみると、ホントに見事にブッシュが切れてます。ショップに出掛けて「マフラー止めてるゴムちょーだい」「どんなタ

イブ?」「丸いやつ」って2コ買って、無駄話してるうちに「付けてけば?」って言ってもらって工具借りてその場で取り付け。「手伝わないでね、工賃かかるから」とか言いながら、ネジ4本だけだしあっさり完了。



「ちょっと走ってくるわ」って、その辺をぐるっと1周。こないだからなんとな～く感じてたエンジンの揺れが止まりました。エンジンの揺れじゃなくてマフラーの揺れだったんですね...。ああ、久しぶりの一体感(っつーかこれがフツー?)。

しかし改めて見てみると、切れるべくして切れた感じのいいかげんなブッシュ。チカラかかる方向がイチバン弱いんじゃないかしら?貫通したボルトを両側からゴムで挟んで留めるとか、そーゆーほうがいいと思うのは素人考えか?ま、高い部品じゃないし、切れたらまた換えりゃいいんだけどさ。

(No.590 ひでまる)

## 総会やります!

**2003年度の反省と2004年度の活動方針を決める「総会」を開催します。**

日時は4月17日(土)、時間は13:00から、場所は通運会館(千代田区外神田3-16-18 地下鉄銀座線末広町駅下車徒歩2分)にて行います。

どなたでも参加できますので、「ERFCでこんな活動してみたい」という方は是非ご参加下さい。もちろん「ちょっと覗いてみたい」という方も歓迎です。

興味のある方は事務局宛にお手紙またはEメールにてお問い合わせ下さい。折り返しこちらから詳細を連絡致します。

また、「参加できないが一言いいたい」という方も是非ご意見をお寄せ下さい。

宜しくお願い致します。

## 【走行会に行ってきました】

走ったんじゃなくて、あくまでも見てきただけのレポートですが...



3月半ばの土曜日(CG Spring Meetと同じ日)。富士のふもとのミニサーキット、白糸スピードランドへと行ってきました。

このコースは東名の富士ICから北に20分ほど行った所にあり、本来はカートのコースとして作られています。ですが、貸切でバイクや(ハイパワーでない)車の走行会などに使用されます。今回はE R F Cの会員でもある原さんの主催する「はこしゅうGP」としての開催で、ロードスターを中心にした参加ラインナップでした。

とは言っても、私は単に見学の身。朝9時から走ってる参加者の流れとは、関係なくお昼に到着。ちょうどお昼休みでしたがコース上には体験走行の車

とカートが走っておりました。走ってなくても持ち回りでオフィシャルやってたりしてるし、みんな、いつもお昼ごはん食べてたんだろ？

コースは1周 800m。カートのコースレコードは 37 秒台ですが、ロードスターだと今回の最速タイムで40 秒台でしたっけか？今回参加した副会長わださんによるとコースは「成田に似ている」そうです。以前、E R F Cで運転研鑽会を開催していた富士高原サーキットと比べると平面的で全体を見渡せるということで見学には適したコースレイアウトなんです。あえて難点を挙げれば見学者がくつろぐ場所がないことかな。なにしろ富士高原はコース脇にBBQのできる芝生スペースがありましたからねえ。雲が切れれば写真の通り、富士の眺めはバッチリなんですけどね。

3月だし富士ICからも遠くないし、と思っていたんですがICからはずっと登り道ですし思ったより標高もあるから昼間でも日が照らないと案外寒い。聞けばこの日はお山のほうでは積雪があったとかで、早朝に富士山スカイライン周りで来た関東組はでは大変だったとか。

次回は6月開催だそうです。興味のある人はWebの「はこしゅう掲示板」などで告知されますのでチェックしてみてくださいね。

<http://8610.teacup.com/hakosyuhakosyu/bbs>

(No.529 まめぞう)

## 【編集後記】

いやまあそんなわけで2003年度の最終号です。

今、20日の午後3時。印刷に間に合わせるための約束が3時だったので、あせりまくります。これが週明けに皆さんの手元に届いているなら無事に間に合ったと言うことです。(^^;)

車の話じゃありませんが、2月にE R R CことEUNOS ROADSTER RAILROAD CLUBのメンバーで九州に行ってきました。もちろん、ろどすたじゃなく鉄道で。九州新幹線の開通前に特急つばめに乗っておこうということで。指宿温泉や妙見温泉はいいところでした。JR最南端の駅のホームから見た開聞岳もすばらしかったです。そしてつばめの車窓からの八代海の眺め...

でも、新幹線の開通とともに鹿児島本線でも八代海が臨める区間は第三セクターになっちゃったんですね。そしてその線沿いには高速道路も建設中で、ローカル線の将来は厳しいことが容易に想像され。

試運転で駆け抜けていく新幹線の姿を見て便利さと旅情の引き換え、なんてことを少し考えちゃいました。

さてさて、次号は新年度の体制が決まってからの発行、5月上旬の予定です。来年度こそリニューアルできるかな？

では。

(まめぞう)



E.R.F.C. Newsletter

2003 Vol.6

2004年3月20日発行

発行：EUNOS ROADSTER FAN CLUB

E-MAIL：erfc@dec.sakura.ne.jp

URL：http://dec.sakura.ne.jp/~erfc/